

「やまなし」指導計画

<p>◎集団読書「セロ弾きのゴーシュ」</p> <p>◎集団読書「雪わたり」</p>	<p>「風の又三郎 宮沢賢治童話集Ⅰ」 岩波書店 1988</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じ場で同じ本を読む。 <p>「風の又三郎 宮沢賢治童話集Ⅰ」 岩波書店 1988</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読んだ後に感想や疑問を付箋に書き、それをもとにグループで話し合う。 	<p>○「やまなし」を学習する前に、内容のわかりやすい作品に触れることで、「やまなし」を同じ作者の作品として身近に感じる。</p>
<p>◎「やまなし」の学習</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 5月の谷川の様子 2. 12月の谷川の様子 3. 5月と12月の違い 4. どうしてやまなしという題名がつけられたのか 	<ul style="list-style-type: none"> ・描かれた情景を表現を手がかりに想像し、作品の世界を味わう。 	<p>○表現の美しさや工夫について感じ取る。</p> <p>○自分たちが読み取ったことから作者の思いを考える。</p>
<p>◎ 集団読書</p> <p>宮沢賢治の作品</p>	<p>「風の又三郎 宮沢賢治童話集Ⅰ」 岩波書店 1988</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほかの作品を読んで、宮沢賢治の考え方や大切にしていることは何かを考え話し合い交流する。 	<p>○友だちの考えを聞きながら、自分の感じたことや考えたことを深める。</p>
<p>○「イーハトーヴの夢」の学習</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・宮沢賢治の生き方、考え方について自分のとらえたことと結びつけながら話し合う。 	<p>○宮沢賢治の生き方、考え方について自分なりの考えをもつ。</p>